

**本日の説教の聖書箇所(創世記3章)を選んだ理由。**今回も聖書同盟発行『聖書通読表』本日の箇所から説教させていただきます。

**序1.**「あなたはどこにいるのか」(創3:9) 神である**主**の、複数であるアダムとエバへの呼びかけが、何故<あなた>(単数形)なのか? それは、神である**主**と、私たちとの関係を結ぶのは、<愛>(旧約聖書のヘブル語はおもに、ヘセドとアハバー。新約聖書のギリシャ語はおもにアガペー)であるゆえ。**【注】**主との関係は1対1であるゆえに、<あなた>(単数形)と、愛をこめて語り、問いかけている(申4:37.申6:5.7:8.マタ22:37.ヨハネ21:15他。)

**序2. 旧新約聖書における創世記3章の意味。**(舟喜信著『新聖書注解』旧約1、いのちのことば社、1976年、p90より)※下線と強調文字は、八尋が加筆。■「この(創世記3章の)記述は、悪の起源を語るためではない。むしろ神によって最善に創造された人間が、なぜ神の救済による以外生きる道のない者になったか、その人間に対して神は何をされたか。つまり啓示としての聖書の記述全体の、基本的な事実が語られている(中略)。この箇所の歴史的 성격はキリストの贖罪の歴史的有効性の前提となる。したがって、救済の歴史としての聖書の記述の歴史的原点ともいうべきであろう。」**【注1】**すなわち、創世記3章は、人間があるべき道を踏み外した、その根っ子にある真の原因を読者に伝えることによって、創造主である神、その御子キリストの救いを仰ぎ求めるようにと、私たちに語りかけているのです。**【注2】**<彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ>(3:15b)の、⇒<彼>とは“メシヤ”(救い主/ヘブル語)である、神の御子“キリスト”(ギリシャ語)の十字架の死による、人々の救いの預言。これは「原始福音」(上掲の注解書p95)。**【注3】**聖書の記述は「神話」ではなく、神の預言。⇒<聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。>(IIテモテ3:16)

**序3. 創世記3章の内容(梗概)**(1)1-7節/蛇の誘惑による、アダム、エバの墮罪。**【注1】**先に誘惑されたのはエバであるが、その責任は夫のアダムに。**【注2】**主イエスへの悪魔(サタン)の誘惑も(マタイ4:1-11、ルカ4:1-13)⇒<肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢>(Iヨハネ2:16)。(2)8-13節/神である**主**の問いかけに、二人の弁解と自己主張。(3)14-19節/(サタンである蛇と)アダム、エバへの、**主**の宣告。(4)20-21節/アダムによるエバの命名(ヘブル語で“生きる”)**【注3】**続いて主の憐れみが、2人に皮の衣を着せて下さる。**【注4】**<皮の衣>(3:21)は、**主**の一般恩恵。(5)22-24節/アダムとエバ、エデンの園から追放。**【注5】**<蛇>は悪魔(ヘブル語で“サタン”)。新約聖書(ギリシャ語)でも“サタン”(マタイ4:10他)。

**本論1-1.** <あなたはどこにいるのか>(創3:9) この呼びかけが意味すること。これは、父なる神の、アダムとエバへの(個々の)呼びかけ。この呼びかけに至った発端と、その意味。⇒1. **悪魔(サタン)の誘惑。**■ ステップ1. 神の御言への不信を抱かせる。2:16⇒3:1、2:17⇒3:3 ■ 誘惑のステップ2. 神のことばへの否定。⇒3:4。■ 誘惑のステップ3. サタンの教えを信じ込ませる。3:5⇒教えの半分に嘘を混ぜることによって。(サタンの教えには、不幸になることが告げられていない。)3:6⇒<見ると>。目からの誘惑(Iヨハ2:16他)。■ **墮罪の結果、サタンの手中に** ①<目が開かれて…、神のようになって善悪を知る者と>(5,7節)⇒知識・感情・意志が変化し、全人的墮落。靈魂の死、肉体の死、永遠の死へ(ロマ6:23他)。②その結果、愛すべき妻を<この女>(3:12)と呼ぶ、<肉>(ローマ7:24,25他)の支配下に。こんにちもキリスト者にも働くサタンの狡猾さ(Iヨハ2:16)。③<善悪の知識の木からは、食べてはならない。その木から食べるとき、あなたは必ず死ぬ。>(創2:17)そこにもたらされた**全人**

的（靈的・精神的・肉体的）<死>。【注】<肉>の働きの誘惑はキリスト者にも身体が贖われる時まで続く（ロマ 7:14-25 他）。聖霊の満たしの必要（エペソ 5:18 他）。

本論Ⅰ-2. <あなたはどこにいるのか>（創 3:9）⇒ アダムとエバが悪魔（サタン）の誘惑に陥った結果、人類にもたらされた「不調和」。 ⇒ 1. 神との不調和。（3:8 b）2. 自己との不調和。（3:10 b）3. （夫婦、家族関係を含む）他者との不調和（3:16, 17. 4 章以下）。4. 労働の苦役、大地・自然界との不調和。戦争、飢餓、自然破壊等など（3:17-19）、そして靈的、肉体的、永遠の死に（3:19b）。【注】聖書で<死>とは、切り離されたという意味。5. 追放。<あなたは一生の間、苦しんでそこから食を得ることになる>（3:17 b）<神である主は、人をエデンの園から追い出し>（創 3:23 以下）新約聖書の黙示録 20 章以下には、永遠の裁きの警告が。

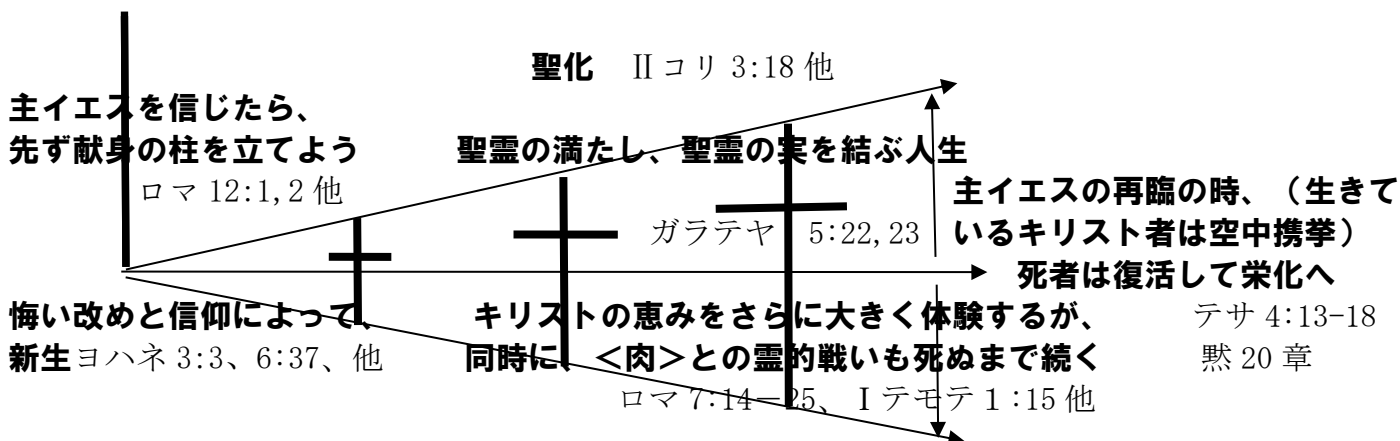
本論Ⅱ. <あなたはどこにいるのか>（創 3:9）この呼びかけの対象。⇒ 聖書の教え全体と照らすならば、アダムとエバだけでなく、神に失われた（こんにちの私たち）への呼びかけです。そして、神である主は、アダムと交わした、（神学的用語で言えば）「わざの契約」（創 2:16,17）の代わりに、（旧約聖書のノア以降）「恵みの契約」を人類に示しておられるのです。

<あなたはどこにいるのか>（創 3:9）この御言は、主イエスの御言に関連しています。⇒<人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。>（ルカ 19:10）【注】<人の子>とは、三位一体の神である、神の御子が人となられたイエス・キリスト。

本論Ⅲ. <あなたはどこにいるのか>（創 3:9）この呼びかけが<あなた>（単数形）なのは、あなた個人の応答として求められているゆえ。この呼びかけに、私たちが信仰によって応えるとき、十字架と復活の、神の御子イエス・キリストによって、罪の赦しが与えられます。そして、主イエスへの愛と献身によって、人生のほんとうの目的である、神の栄光を現し、神を永遠に喜ぶ生涯を、厳しい現実の中にあっても、神の「恵みの手段」によって、歩むことができるのです。【注】「恵みの手段」とは専門用語で、聖書、祈り、キリスト者たちとの交わり等。しかも、イエス・キリストを信じることで自分が恵みなのです（エペソ 2:8 他）。<あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。>（I コリ 6:20）

【結び】<あなたはどこにいるのか>（創世記 3:9）とは、神に失われていた私やあなたに対する、個人的な、愛ゆえの呼びかけなのです。<神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。>（ヨハネ 3:16）

### 【参考資料 1】健全なキリスト者の生涯 ヨハネ 21:15 以下（キリストを愛して仕える人生）



聖書が書かれたのは、あなたも、創造主である神との関係を、神の御子イエスへの信仰によって

回復し、人生の目的である、神の栄光を現し、神を永遠に喜ぶ人生を全うするためです（1コリ 6:20 1コリント 10:31 他）。健全なキリスト者には、その半面、自分は<罪人のかしら>の自覚と葛藤もあります（ローマ 7:21、1テモテ 1:15 他）。ゆえに、悔改めと信仰をいつも新たにし、地上においては、主イエスを愛し、主イエスの弟子として、感謝と喜びをもって、信仰から信仰へと進もうではありませんか。（ローマ 1:17、1コリント 13:13 他）

【参考資料2】聖書は“契約の書”です。

<p>旧約聖書</p> <p>わざの契約</p>	<p>アダム契約 (創 2:16,17)</p> 	<p>■創 2:16,17 &lt;神である主は人に命じられた。「あなたは園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは、食べてはならない。その木から食べるとき、あなたは必ず死ぬ。&gt;(創 2:17) &lt;死ぬ&gt;とは全人的すなわち霊的、精神的、肉体的に。戦争や自然破壊等、諸問題の根本的な原因が此処に。アダム契約は破綻し、すべての人間は生まれながら罪の性質を持って生まれることに。&lt;大地はあなたのゆえにのろわれる&gt; (創 3:17b) ■&lt;けれども死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々をさえも、支配しました。アダムは来たるべき方のひな型です。&gt; (新約聖書ロマ 5:14) 「<u>わざの契約</u>」は私たちの一般社会の契約と同じで、<u>双方が義務を負い合うもの</u>。 【注】&lt;契約&gt;の用語は2つあり、<u>ノア契約は、「わざの契約」でなく、「恵みの契約」に変わりました。</u> (この理解は、とても大切です。)</p>
<p>恵みの契約</p>	<p>ノア契約 (創 9:9-17)</p> <p>【注】新しい契約(恵みの契約)は、ノア契約から始まっている。</p> <p>アブラハム契約 (創 17章)</p> <p>シナイ契約(モーセの律法) (出 34:27 他)</p> <p>ダビデ契約 (IIサ 7章)</p> <p>「新しい契約」 (マタ 6:28、マル 14:24、ルカ 22:30、Iコリ 11:25)</p> 	 <p>■出 34:27&lt;主はモーセに言われた。(中略)わたしは、これらのことばによって、あなたと、そしてイスラエルと契約を結んだからである&gt;■恵みの契約は「<u>契約の血</u>」によって結ばれた。出 24:7, 8 &lt;そして、契約の書を取り(中略)「見よ。これは、これらすべてのことばに基づいて、<u>主があなたがたと結ばれる契約の血である。</u>」&gt;</p> <p>(動物のいけにえは、メシア(キリスト)の犠牲を予表していた。)【注】「恵みの契約」は神だけが義務を負う。人に求められるのは神に対する誠実な「<u>応答</u>」(信仰)のみ。■申命記 7:9 &lt;主は信頼すべき神であり、ご自分を愛し、自分を愛し、ご自分の命令を守る者には<u>恵みの契約</u>を千代までも守られる。&gt; ■旧約時代の預言者エレミヤも預言した。&lt;見よ。その時代が来る。一主のことば—そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、<u>新しい契約を結ぶ</u>&gt; (エレ 31:31)【<u>契約の用語の説明</u>】旧約聖書で用いられている「契約」は「ベリース」(ヘブル語)。ヘブル語(一部アラム語)の旧約聖書をギリシャ語に訳した『70人訳聖書』では、(ヘブル語の)「ベリース(契約)」の訳語に(ギリシャ語)「ディアセーケー」を用いた。よって新約聖書(ギリシャ語)も「ディアセーケー」。■なお、結婚など双方が合意して義務を負い合う契約は(ギリシャ語で)「スンセーケー」(英語は Contract)。■これに対して「<u>ディアセーケー</u>」(英語は Testament/Covenant)は、<u>一方的な提示によって結ぶ契約であり、「遺言」と同じ言葉</u>。遺言は両者の合意によって結ばれるのではない。遺言は受け入れるか拒むかどちらかしかない。(⇒</p>
<p>新約聖書</p>		<p>引照付き聖書をお持ちのかたは、ヘブル 9:16, 17 の欄外注を見ると、そこに、「契約」とは「遺言」と同じ言葉であると説明している。)</p> <p>『詳訳聖書』マタイ 20:28a&lt;これは<u>契約の私の血</u> [契約を批准するもの]であり、多くの人に罪の赦しを得させるために注がれるものである。&gt;</p> <p>&lt;死ぬ&gt;(創 2:17) ⇒ &lt;永遠のいのち&gt;(ヨハネ 3:16 他)は地上だけで終わらず、黙示録 21,22 章における&lt;新しい天と新しい地&gt;へ。</p>

■聖書を英語で Testament (テストAMENT)。語源は testari(テストアリ/証言する)に由来し、遺言、

契約などの意味も。■旧約聖書を英語で Old Testament (オールド・テストメント)、新約聖書を New Testament (ニュー・テストメント) と呼ぶのは聖書が神と人との「契約の書」であるゆえ。

**【付記】この者自身の 30 歳までの歩み【注】**これまで幾度か自己紹介しておりますが、初めてお聞きになるかたもおられますので、ご容赦を。 1. 北九州市の生まれ。実父は空襲下で死亡。戦後、母は戦地から復員した警察官(刑事)と再婚。15歳で、K船会社がチャーターした**国内航路の油槽船(オイル・タンカー)**、次いで**外国航路の化学物質油槽船(ケミカル・タンカー)**の甲板員に。 2. **海上で2回、怪我や感染で入院**。国内航路では港内にボートを操船中、スクリュウ・シャフトに左足の筋肉と神経などを削られ、宮古市立病院に2ヶ月余入院。外国航路では、北米のテキサス州ヒューストン港へ向かう途中、キューバ危機(1961年)でスエズ運河閉鎖。フィリピンに回航し、マニラ湾に停泊中、乗組員40人の内、14名がマラリアに感染。緊急ボートと救急車でマニラ郊外のモンテンルパ病院に搬送。2週間余入院。(入院中、英字新聞でケネディ大統領暗殺を知る。) 3. 国立海技大学通信教育部(大学入試検定は合格)の学びと**海技免許国家試験のために下船**し、当面の生活費のため、**クリーニングの白洋舎(株)の営業課で3年8ヶ月勤務**。そこでキリスト者である**五十嵐健治会長から入信の証詞(マルコ5:1-20)をお聴きする**。【挿入】その20数年後、当時の白洋舎会長、いのちのことば社担当者たちの来訪と依頼を受け、五十嵐健治氏の伝記映画『雪よりも白く』の中で、クリスチャン作家の三浦綾子さんと一緒に健治氏の思い出を紹介させて頂くことに。 4. **22歳の時、アメリカ人(TEAM所属)宣教師タッド・フランネン師ご夫妻宅での夕食会に招かれ、その家庭礼拝の席で開かれた聖句(ロマ3:9-18)から、自己の罪を示され、翌朝、再び同師宅を訪ね、神への悔い改め(方向転換)と、主イエス・キリストへの信仰告白へ(ロマ10:9-11他)**。その時に示された聖句(**マタイ28:18-20**)に**応え、生涯かけて主イエスの弟子になる献身の祈りを**。 5. 名古屋市千種区で開拓伝道中の**自由ヶ丘教会で、ダン・マカルパイン宣教師から受洗**。22歳。 6. 婚約者の信仰告白を待ち、**自由ヶ丘教会で結婚式**。23歳。 7. 私にとっての**<パウロ>**(信仰上の先輩)、**<バルナバ>**(信仰上の友)、**<テモテ>**(信仰上の後輩)たちとの出会いと祝福。 8. 主イエスの御言から、フルタイム献身の命令を受け、夫婦で祈り合ったあと、3年半お世話になった白洋舎に御礼を伝えて辞任。妻子を伴って一夏、岐阜県中津川市の山中で、**夕森バイブル・キャンプ場の開設に従事**。次に、神学校での学費と、妻子の生活費を蓄えるため、OM海事kkの**一等航海士として乗船し、1年間、国内沿岸で勤務**。 9. 船内の自室で静思の時、**<みことば>(ヤコブ:13-17他)と聖霊の強い迫りを受け、すべてを主イエスに明け渡し、ありのままに主イエスにお従い致す決意の祈りを**。 10. 名古屋港に入港した機会に、所属教会(JECA自由ヶ丘教会)に赴任して間もない初代牧師、羽鳥純二牧師(当時、北海道聖書学院理事長)を訪ねて、祈っていただき、機会を得て、自由ヶ丘教会堂で同学院の入試を受験。しかし職場での後任者との引き継ぎの都合で、下船は5ヶ月後。その半月後には、妻子を伴い札幌へ。2学期から途中入学。(現在は単位制になり不可) 11. 私が北海道聖書学院在学中に、**妻の母は信仰告白して受洗**。(後に妻の父も。)北海道聖書学院卒業後、任地の函館に赴く前に、(**マタイ5:23,24の聖句に従い**)かつて喧嘩別れした義父(と実母が住む)京都府に妻子を伴い、約10年ぶりに訪ね、謝罪して和解。この義父はその翌年に「お前の神様は本物だ」と、主イエスへの信仰を告白して受洗。続いて実母も。(現在、私の家族親戚内には、すでに天に召された者たちを含めると、**25名余がキリスト者に**。) 12. (私は昨年秋、80歳になりました。)これまで、フルタイムの働き人として、多くの方々の助けと協力を得て、主イエスと教会に仕えさせて頂いたことを、主である神に、そして皆様にも、心から御礼を申し上げます。生涯の道標聖句は、**<義人は信仰によって生きる>(ロマ1:16)、<あなたは・・・わたしを愛していますか。…わたしに従いなさい。>(ヨハネ21:15-22)他**。申すまでもなく、**主イエスの召しと賜物はそれぞれ異なっています。主イエスは、その御愛のゆえに、あなたを救い、神の栄光を現す人生を全うするために、深い御心をもって、招いておられます。私たちは、それぞれに与えられている、その召しと賜物にお応えして参ろうではありませんか。「あなたはどこにいるのか」(創3:9)**